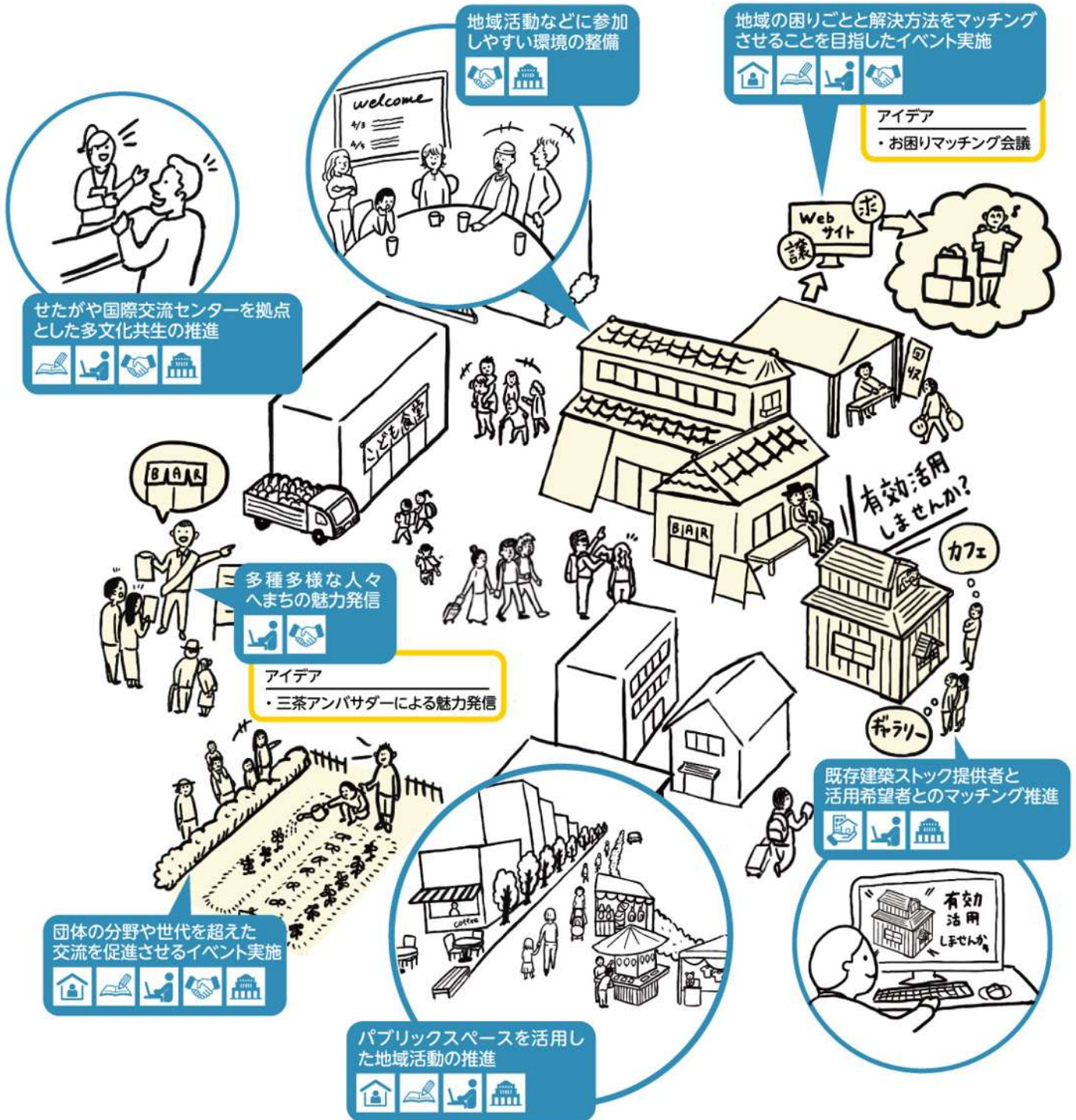


8

暮らしを通して 様々な関係性が 生まれるまち



多様な暮らしが重なり合う中で、助け・支え合い、相互理解を深めながら、お互いを尊重し合う関係性が生まれている。こうした包容力が地域内外でのさらなる交流を生み出している。

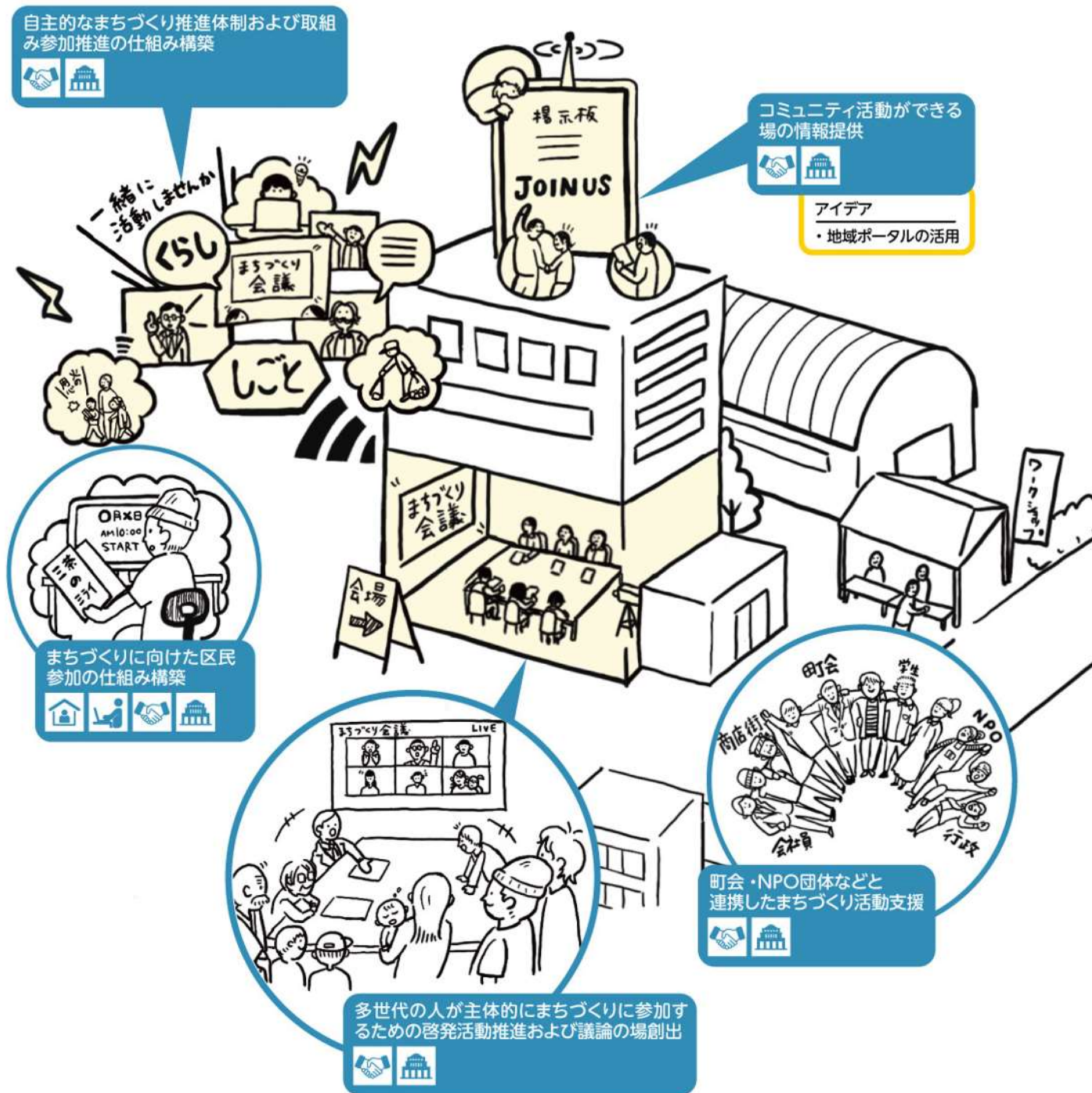


9 誰もがまちづくりに 関われるまち

取組み  アイデア 

-  住む人
  学ぶ人
  土地建物を持つ人
 働く人
  支援する組織
  行政

まちに関わる人々が主体的にまちづくりに参加し、まちを育てていける仕組みがあり、始める、支える、賛同するなど、様々な形でまちづくりに関われる機会が提供されている。









3 9つの未来像実現のための取組み

9つの未来像実現のためには、一つひとつの取組みをできることから始めて、積み上げていくことが大切です。

まちづくり会議とまちづくりシンポジウムでの意見を基に、基本方針の取組みの例示なども踏まえ、今後実施検討していく9つの未来像実現のための取組みとして設定しました。また、取り組む主体（期待できる主体や既に実施している主体）及び新しい取組みに繋げたいアイデアなどを整理しました。

さらに、これらを基に、社会実験の実施やまちづくり会議で検討しながら、取り組む主体や実施する時期などを具体化していきます。また、既存のまちづくり活動の拡張、新たな主体の参加、社会情勢を捉えながら9つの未来像実現のための取組みを増やしていき、まちづくりを推進していきます。

9つの未来像実現のための取組みの項目と内容

項目	内容	掲載場所
9つの未来像実現のための取組み	「三茶のミライ」が「みんなの計画」であるという基本理念に基づき、まちづくり会議などで共有した幅広い意見をまちづくり検討委員会などの視点を踏まえながら整理しました。	15～23ページ 取組み
新しい取組みに繋げたいアイデア	新しい取組みに繋げたいと考えているアイデアを、まちづくり会議などでの意見から整理しました。	15～23ページ アイデア
取り組む主体 (期待できる主体、既に実施している主体)	<ul style="list-style-type: none"> ・住む人：主に対象区域に住む区民や町会などの区民組織 ・学ぶ人：主に勉学のために対象区域を訪れる人 ・土地建物：居住地を問わず、主に対象区域内で土地や建物を持つ人を所有する個人や組織など ・働く人：対象区域内で働く個人事業主、法人など ・支援する：対象区域内のまちづくり活動を支える団体など組織 ・行政：世田谷区、東京都、国土交通省など <p>※取組みにあたっては、道路管理者や交通管理者、関連する事業者などの多様な主体と連携を図っていきます。</p>	15～23ページ  住む人  学ぶ人  土地建物を持つ人  働く人  支援する組織  行政

4 9つの未来像実現に結び付くまちの空間デザイン

(1) まちの空間デザインの考え方と整理方法

三軒茶屋駅周辺のまちのビジョン実現に向け、9つの未来像及び未来像を実現したまちの姿を描き、その未来像実現のための取組みをまちづくり会議で共有しました。

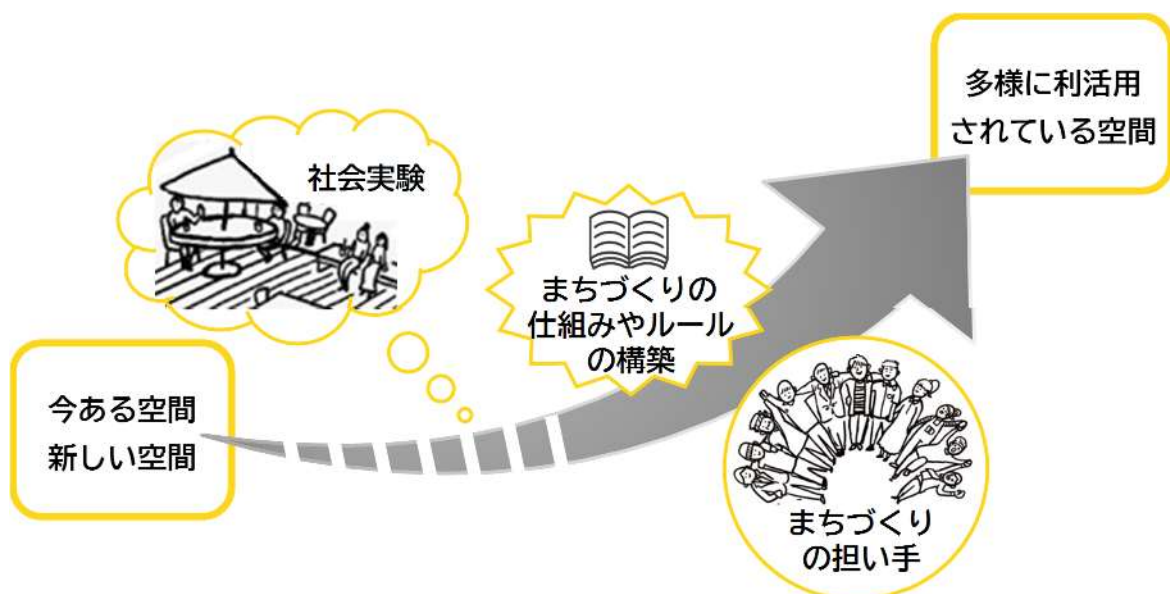
共有した取組みには、イベントの実施やパブリックスペースを活用した地域活動など、今ある空間の利活用によりすぐに始められるものがある一方、歩きやすい歩行空間や地下空間における魅力ある広場の整備など、基本方針で示した都市基盤に関する新しい空間を創出するものもあります。これらを推進するためには、多様な主体同士が連携し、具体化していくことが必要です。

そこで、より多くのまちづくりの担い手が、次の行動を起こすきっかけとなるよう、今ある空間の多様な利活用や新たな空間の創出及びその利活用、さらにまちづくりの仕組みやルール構築を一体的に捉え、「まちの空間デザイン」としてまとめました。

まちの空間デザインは、9つの未来像実現のための取組みから抽出した「まちの空間デザインに関する取組み」と、基本方針で示す「機能イメージ」及び「基盤整備イメージ」を基に4つのポイントに整理しました。また、この4つのポイントを踏まえ、利活用が期待できる場所や空間創出を目指す場所を、ポイントイメージ図において表現しました。

今後、まちの空間デザインに関する取組みについて、社会実験などを実施することで具体化し、これを繰り返し、一つひとつの取組みが繋がり加速し、また、新たな取組みも加わり、みんなが連携した社会実装に繋げていきます。

まちの空間デザイン



9つの未来像におけるまちの空間デザインに関する取組み

9つの未来像		未来像を実現したまちの姿	まちの空間デザインに関する取組み
未来像1	歴史を継承しアートを生み出すまち	次世代に誇れるまちの歴史や文化が継承され、その魅力が世界中に発信されている。文化創造や活動参加の機会を増やし、作り手が集う場所が用意されて新たなアートや文化が生まれ、まち全体がアートや文化であふれている。	<ul style="list-style-type: none"> 芸術創造や活動への幅広く多様な参加の推進と制度的支援 文化施設などの文化インフラを積極的に活用し、人と人を繋ぐ仕組み構築
未来像2	個性豊かな店が通りを彩るまち	個性豊かな店舗が通りを彩り、界わい性を育てている。様々な事業者や商店などが連携することによって新たな魅力を生み、まちの活気が継続している。	<ul style="list-style-type: none"> 魅力あるまち並みなどを継承するためのまちづくりルール構築 地域活性化に向けた、多世代が楽しめるイベント実施
未来像3	暮らしの近くに「働く」があるまち	暮らしの近くで様々な働き方ができる環境があり、そうした場所に人が集まり、活気づいている。起業・創業への後押しが、人々を呼び込み、新たなチャンスが生まれている。	<ul style="list-style-type: none"> 自由自在な仕事の仕方ができるオフィス整備および利用推進
未来像4	くつろぎの空間が育まれるまち	まちなかに広がる公共的空間が居心地の良い場所を生み、人とまちを繋いでいる。駅周辺は清潔感にあふれ、まち並みとみどりが調和し、人々の愛着心を育てている。	<ul style="list-style-type: none"> 街区一体化などの面的整備に合わせ、まちづくり活動ができる広場空間整備 質、量ともに豊かな地域にするための緑地空間整備
未来像5	誰でも気軽に出かけられるまち	地上や地下に広がる複層的なまちなかを行き来できるなど、誰もが行きたいところに安心して移動ができ、まち全体が繋がっている。公共交通や自転車、新たなモビリティなどの様々な移動サービスが連携し、利用や乗り換えが快適になっている。	<ul style="list-style-type: none"> 通行環境の向上を目指した歩きやすい歩行空間整備 南北方向の分断回避を目指した道路横断機能の整備
未来像6	拠点性を生かして人々の活動を支えるまち	古くからの街道の分岐点であることや公共交通が充実している利便性を活かし、公共サービスを始めとした拠点ならではの機能が集約されることで拠点性が高まり、人々の活発な活動を支えている。	<ul style="list-style-type: none"> 市街地の再構築として高度利用などによる魅力ある拠点の創出と商業・業務・滞在施設など機能の集積 地下空間における魅力ある広場などの創出
未来像7	災害に強く、安全安心のあるまち	まちに関わる人々が連携できる、共助による防災、防犯及び緊急時に対する体制が整っている。建物の不燃化、耐震化、防災空間の充実などにより、防災性が向上している。	<ul style="list-style-type: none"> 建築物の建替えや面的整備などを契機とした延焼遮断帯及び耐震化推進 駅周辺の防災性向上のための帰宅困難者などの滞留空間整備
未来像8	暮らしを通して様々な関係性が生まれるまち	多様な暮らしが重なり合う中で、助け・支え合い、相互理解を深めながら、お互いを尊重し合う関係性が生まれている。こうした包容力が地域内外でのさらなる交流を生み出している。	<ul style="list-style-type: none"> パブリックスペースを活用した地域活動の推進 団体の分野や世代を超えた交流を促進させるイベント実施
未来像9	誰もがまちづくりに関われるまち(※)	まちに関わる人々が主体的にまちづくりに参加し、まちを育てていける仕組みがあり、始める、支える、賛同するなど、様々な形でまちづくりに関われる機会が提供されている。	<ul style="list-style-type: none"> 自主的なまちづくり推進体制および取組み参加推進の仕組み構築 まちづくりに向けた区民参加の仕組み構築





(※) 未来像9については、未来像1から8のそれぞれの実現に必要なものです。

(2) まちの空間デザインの大切な4つのポイント

9つの未来像実現のための取組みから抽出した、まちの空間デザインに関する取組みと基本方針で示す機能イメージ(※1)及び基盤整備イメージ(※2)を基に、整理したまちの空間デザインの大切なポイントは、「まちの個性・魅力の継承・強化、パブリックスペースの活用」、「拠点性を生かした都市機能集積、パブリックスペースの創出、防災性の向上」、「歩行者空間の充実、スムーズな移動や乗換え、回遊性の向上」、「南北移動の円滑化、地下空間の活用・創出」の4つです。

この4つのポイントは、未来像と密接に関わり合っています。

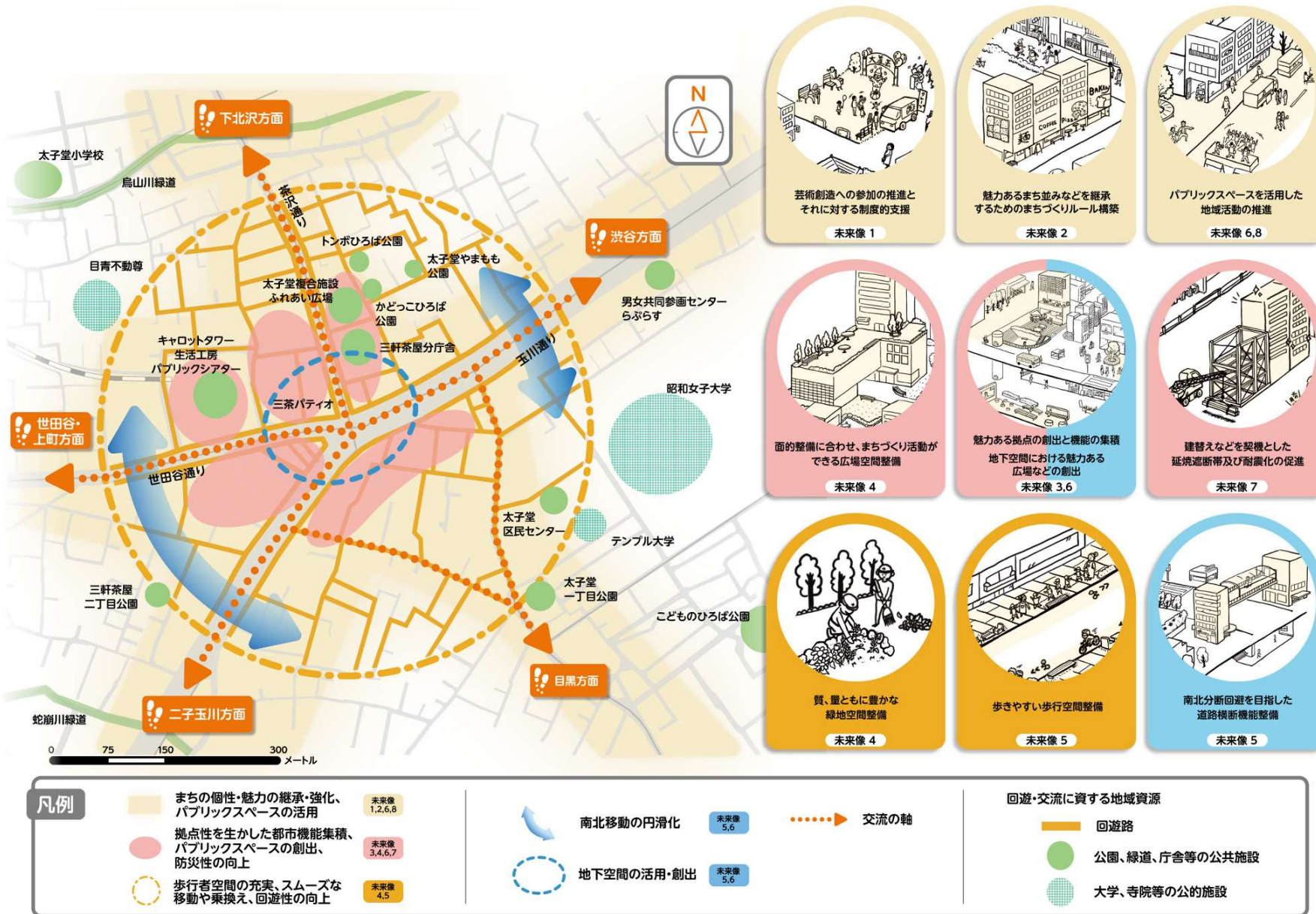
まちの空間デザインの大切な4つのポイント

まちの空間デザインの大切な4つのポイント	関係する9つの未来像	考え方
まちの個性・魅力の継承・強化、 パブリックスペースの活用 	未来像1：歴史を継承しアートを生み出すまち 未来像2：個性豊かな店が通りを彩るまち 未来像6：拠点性を生かして人々の活動を支えるまち 未来像8：暮らしを通して様々な関係性が生まれるまち	まちの歴史や文化、個性豊かな店舗などの界わい性など、まちの個性の継承や、地域内外のさらなる交流など新たな魅力を生み出すために、魅力あるまち並みを継承するまちづくりのルール構築やパブリックスペースなどの活用を図っていきます。
拠点性を生かした都市機能集積、 パブリックスペースの創出、 防災性の向上 	未来像3：暮らしの近くに「働く」があるまち 未来像4：くつろぎの空間が育まれるまち 未来像6：拠点性を生かして人々の活動を支えるまち 未来像7：災害に強く、安全安心のあるまち	拠点ならではの機能の集約や防災性の向上を一体的に進め、人々の活発な活動を支えていくために、市街地の再構築による拠点の創出や、暮らしの近くで様々な働き方ができる環境などの機能集積と合わせて、広場空間整備や延焼遮断帯の形成及び建築物等の耐震化などを図っていきます。
歩行者空間の充実、 スムーズな移動や乗換え、 回遊性の向上 	未来像4：くつろぎの空間が育まれるまち 未来像5：誰でも気軽に出かけられるまち	まち並みとみどりが調和した居心地の良い場所を生み出すとともに、公共交通の利用や乗換えが快適となるよう、質、量ともに豊かな地域にするための緑地空間や歩きやすい歩行空間などを整備し、まちの回遊空間を充実させていきます。
南北移動の円滑化、 地下空間の活用・創出 	未来像5：誰でも気軽に出かけられるまち 未来像6：拠点性を生かして人々の活動を支えるまち	地上や地下に広がる複層的なまちなかを行き来できるなど、まち全体を繋げ、誰もが行きたいところに安心して移動できるように、南北分断解消のための道路横断機能や地下空間における魅力ある広場などの整備の誘導を図っていきます。

(※1) 基本方針で示す機能イメージは、「Crossingゾーン」、「玉川通り沿道ゾーン」、「魅力共存ゾーン」、「住宅地と商業地のバッファゾーン」の各ゾーンのイメージのことで。

(※2) 都市基盤イメージは、「スムーズな移動や乗り換え」、「パブリックスペースの創出」、「地下空間の活用」、「歩行者空間の充実」、「歩行者の南北移動の円滑化」、「回遊性向上に寄与する動線の強化」に関するイメージのことで。

まちの空間デザインのポイントイメージ図



第4章 今後の展望 ～みんなの思いをまちづくりに～

1 ソフトとハードが一体となったまちづくりの推進

(1) 参加と協働による持続可能なまちづくり

9つの未来像実現に向けて、共に理解し、知恵を出し合い、協力しながら様々な立場で役割を担って、協働することが重要になります。加えて、今般のコロナ危機を乗り越えていくサステナブル・リカバリー*の考えにおいては、人々の意識や行動の変化に適応したまちづくりが求められており、多様な主体の連携による新たな関係性の構築も欠かせません。

世田谷区の広域生活・文化拠点に位置付けのある二子玉川駅周辺においては「二子玉川エリアマネジメンツ*」が、下北沢駅周辺では小田急線上部周辺を対象とした「北沢 PR 戦略会議*」が、協働や新たな関係性の構築を図りながら、さらなるまちの魅力向上を目指して既に活動を始めています。

今後、「三茶のミライ」を基に、まちづくり推進体制の構築や、社会実験を中心にみんなができる取組みに参加し、身近な活動を行いながら協働による持続可能なまちづくりを進めていきます。

みんなで取り組む9つの未来像実現のイメージ

